



これからが始まり  
「輝くセカンドライフ」実践録が出版される 3/21

「日本女性会議＜男女共同参画＞2013あなん」第5分科会（平成25年開催）のアフター事業で取り組まれていた「輝くセカンドライフ」実践録が、出版されました。この実践録は、「男女共同参画社会実現に向けた、退職後の生き方」をテーマに原稿を公募し、62人が寄稿しました。文化会館で行われた出版記念式には、たくさんの方がお祝いに駆けつけました。

3/25 共に生きていく  
「定住自立圏形成協定」を締結

圏域全体の住民福祉の向上、および地域振興を図る「定住自立圏形成協定」を牟岐町、海陽町との間で締結しました。今後は、すでに協定を締結している那賀町、美波町を含む県南部の1市4町が新たな圏域を形成します。圏域間の生活機能の強化など具体的な取組は、今後開催する「圏域共生ビジョン懇談会」の中で取り決め、平成29年度から事業を開始します。



新野高校の甲子園出場を記念して 3/27

新野高校が甲子園に出場したのを記念して（平成4年春と平成8年夏の2回出場）、あななんアリーナに記念プレートが設置されました。記念行事では、プレートのお披露目や記念撮影などが行われました。新野高校野球部の西尾龍人さん（3年）は、「プレートが設置されて、先輩方の偉大な功績を改めて実感しました。夏の大会に向けて力が入ります」と話していました。



4/3 満開の桜に囲まれて  
楠根桜つつみ公園で「桜まつり」開催

楠根桜つつみ公園で「第1回桜まつり」が開催されました（楠根町活性化協議会主催）。今年から始まったこの祭りでは、ステージイベントとして阿波踊りやフラダンスなどが披露されたり、飲食イベントとしてうどんや焼き鳥などが販売されたりと多彩なイベントが催されました。時折雨が降る中、花見客は笑顔で観覧し、ピクニック気分ですらを楽しんでいました。



地域を変える新しい力となる  
「地域おこし協力隊」活動開始！

全国的に広がりを見せている「地域おこし協力隊」を本市にも導入し、さらなる地域力の向上に取り組みます。今年は、県外から3人を招き入れ、農業振興や観光開発などに従事します。

4月1日に行われた辞令交付式には、加茂谷地区に入る愛知県常滑市出身の渡辺敏郎さん（22歳・写真右）と兵庫県西宮市出身の岩本昌子さん（41歳・写真

中）、椿地区に入る大阪府阪南市出身の助田光穂さん（24歳・写真左）が出席し、岩浅市長から辞令を受け取りました。

渡辺さんは、「皆さんに、早く顔と名前を覚えてもらいたいです。特に旧大井小学校を使ったまちおこしに取り組みたいです」、岩本さんは、四国88カ所を回ったとき加茂谷の人や自然に魅かれたという。「加茂谷を活気のあるまちにするため、お手伝いがしたいです。特に『かもの道』の活性化に取り組みたいです」、助田さんは、「まずは地域の方とふれあいたいです。日々、アンテナを張って、地域おこし協力隊の第1号として恥じないように精進します。特に、椿泊の街並みやかもだ岬温泉など椿地区の魅力を全国に発信したいです」とそれぞれ抱負を述べました。

「18歳から変えられるあなたの未来」 3/16  
選挙啓発活動を実施

選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられます（6月19日の後に公示される選挙から）。阿南市明るい選挙推進協議会は、市役所新庁舎1階ロビーに、「選挙啓発コーナー」を設置し、選挙啓発活動を行いました。「明るい選挙啓発ポスター作品コンクール」の中学校の部で金賞を受賞した吉積怜生さん（阿南中学校2年）の作品を掲示したほか、選挙啓発資料を配布しました。



3/20 「合併10周年記念式典」を挙げる

平成18年3月20日に那賀川町、羽ノ浦町と合併を行って10年を迎えたことを記念し、文化会館で記念式典が挙行され、約500人が出席しました。岩浅市長は「これからも持続可能な行政運営を行い、夢と希望あふれるまちづくりを推進します」と式辞を述べました。式典後、「阿南第九の会」の合唱や作家の乙武洋匡さんによる記念講演が行われ、式典に花を添えました。

